



第13回常任理事会

日時 令和5年9月12日(火) 18:00～19:53
場所 北海道医師会館・9階理事会室
出席者 松家会長、藤原・鈴木両副会長、三戸・目黒・橋本・水谷・山科・伊藤・荒木・長谷部・菅田・寺本・白崎・村上各常任理事、阿久津監事、長瀬顧問
 (Web参加者) 佐古副会長、青木常任理事、藤瀬・梶両監事
 (事務局: 三瓶事務局長ほか14名)

協議事項

第1号 日本医師会生涯教育講座の認定に関する件 (村上常任理事)

申請のあった日医生涯教育講座8件を承認することと決定。

報告事項

1. 北海道看護協会・北海道医師会懇談会 [8月16日(水)] について (水谷常任理事)

北海道看護協会の担当で開催した。北海道看護協会から「外来における在宅療養支援能力向上のための研修について」「災害支援ナース(災害・新興感染症対応)に係る新たな体制構築について」の話題提供があり、意見交換を行った。

2. 政経問題懇話会 [8月19日(土)] について (荒木常任理事)

株式会社フジドリームエアラインズ・桑野洋一郎取締役(空港業務部長)を招聘し、「環境の変化に対応し、発想の転換でいかに生き残っていけばいいのか?～コロナ禍等を教訓として～」をテーマに運航率・搭乗率の減少による課題やその対応方法等について講演いただいた。

3. 医師会立看護職員養成校連絡協議会 [8月20日(日)] について (水谷常任理事)

北海道から「看護職員を巡る最近の動向」について情報提供後、当会から日医の医療関係者検討委員会において、会長諮問「医師会立看護師等養成所を存続させるための方策について」の審議結果を答申書にまとめる予定であることを報告した。また、事

前に提出を受けた、各学校が抱える諸問題について意見交換を行った。

4. 日本医師会防災訓練(災害時情報通信訓練)に係る事前視察 [8月30日(水)・釧路市] について (白崎常任理事)

11月16日(木)開催の日本医師会防災訓練に先立ち、日医の細川・笹本両常任理事が訓練の被災地を想定している釧路市を訪問し、釧路市役所防災庁舎などの防災関連施設を視察した。その後、釧路市医師会の柴田会長、山本・中村両副会長に参加いただき、日医から本訓練のコンセプトやポイントのほか、医師会の組織強化について説明を受け、意見交換を行った。

5. 第61回全国自治体病院学会 [8月31日(木)～9月1日(金)・札幌市] について (青木常任理事)

苫小牧市立病院・松岡伸一院長が学会長となり、「未来に輝け 自治体病院～Mission! 持続可能な地域医療を構築せよ～」をメインテーマに開催された。「医療提供体制改革と自治体病院」と題した会長特別講演、メインテーマに沿ったシンポジウムが行われたほか、10の医療職種等の分科会に分かれ、特別講演やシンポジウム、一般演題が行われた。学会参加者は約3,500名であった。なお、今回は、来年10月31日(木)、11月1日(金)に新潟市で開催予定である。

6. 第36回全国有床診療所連絡協議会総会 [9月2日(土)～3日(日)・福島市] について (青木常任理事、鈴木副会長)

福島県医師会・佐藤武寿会長が大会長となり、「将来を見据えた有床診療所のありかた～認知度の向上と地域医療への貢献～」をメインテーマに開催された。1日目は、総会行事に引き続き、日医・松本会長から「最近の医療情勢とその課題」、厚生労働省医政局医事課医師等医療従事者働き方改革推進室・藤川葵室長補佐から「医師の働き方改革とその進捗等について～厚生労働省の立場から～」、丸の内森レディースクリニック・宋美玄院長から「SNS、メディアを使った医療機関の成長戦略とピットフォール」をテーマに講演があった。2日目は、日医総研・江口成美主席研究員から「地域のニーズに応える有床診療所の今後」の講演後、テーマ「医師の働き方改革最終章～希望するすべての有床診療所が宿日直許可を取るためには～」のもとシンポジウムが行われた。参加者は186名であった。今回は、来年8月24日(土)・25日(日)に栃木県・宇都宮市で開催予定である。

7. 北海道医療サーバイヤーワーキンググループ [9月4日(月)] について (水谷常任理事)

座長に長谷部常任理事、副座長に青木常任理事を選任後、医療機関勤務環境評価センター(日本医師会)ならびに北海道から、特定労務管理対象機関の評価・指定に関する情報提供があり、意見交換を行った。

8. 地域医療に関わる地域別意見交換会〔9月6日（水）・倶知安町〕について（青木常任理事）

地域医療に関わる諸問題について各地の状況を把握するため、松家会長ほか5名の当会役員と羊蹄医師会役員および会員出席のもと開催した。当会から地域医療構想や外国人患者医療への対応等について話題提供後、羊蹄医師会より「羊蹄山麓の現状と課題～救急医療・在宅医療・多職種連携～」について説明があり意見交換を行った。倶知安町ならびに北海道関係者も傍聴し、出席者は33名であった。

9. 外部各委員会報告

(1) 第4回北海道感染症対策有識者会議〔8月21日（月）〕について（三戸常任理事）

新型コロナウイルス感染症の流行期間における人口動態・経済等の状況について説明後、新型コロナウイルス感染症への対応について、「行政の対応」をテーマに、専門人材の確保・育成、道の体制、国への要請、情報発信を論点として検証・意見交換を行った。

(2) 北海道医療審議会 第1回地域医療部会〔8月22日（火）・Web併用〕について（鈴木副会長）

部会長には藤原副会長、部会長代理に小職が選任された。地域医療支援病院の名称（1件）および届出により病床設置を申請する案件（産婦人科1件）について了承した。また、条件付き許可をした5医療機関の状況について確認し、今後の取り扱いについて了承した。

(3) 北海道医療審議会 第1回医療法人部会〔8月22日（火）・Web併用〕について（鈴木副会長）

部会長には小職、部会長代理に藤原副会長が選任された。地域医療連携推進法人の認定が1件、社会医療法人の認定が2件、医療法人の設立については、病院1件、医科診療所17件、歯科診療所3件の合計21件、医療法人の解散については、医科診療所14件、歯科診療所7件の合計21件、医療法人の合併4件、非医師等の理事長選出について2件が上程され、すべて承認した。

(4) 第1回道民の健康づくり推進協議会〔8月24日（木）〕について（三戸常任理事）

第1回受動喫煙防止対策専門部会の開催状況について報告後、北海道健康増進計画 すこやか北海道21の最終評価案および次期北海道健康増進計画骨子案について協議した。

(5) 第3回北海道高齢者保健福祉施策検討協議会〔8月25日（金）・Web会議〕について（藤原副会長）

令和4年度北海道計画の事業評価について報告後、令和6年度地域医療介護総合確保基金（介護分）に係る事業提案の状況ならびに地域包括ケアシステムの推進について、また、本道の85歳以上人口等の現状の報告ならびに次期北海道

高齢者保健福祉計画・介護保険事業支援計画について報告、意見交換を行った。

(6) 第3回北海道新興・再興感染症等対策専門会議医療体制専門部会〔8月25日（金）〕について（三戸常任理事）

感染症法に基づく医療措置協定の締結協議に向けた事前調査について概要の報告後、次期北海道感染症予防計画の策定に関して、素案のたたき台および数値目標について協議した。また、医療機関等との医療措置協定について、保健所設置市における感染症予防計画の構成骨子案について説明があった。

(7) 第3回北海道感染症対策連携協議会〔8月31日（木）〕について（三戸常任理事）

次期北海道感染症予防計画の素案のたたき台および数値目標について説明後、専門部会での協議内容を踏まえ、本計画の構成について協議した。

(8) 第2回北海道DMAT等検討ワーキンググループ〔9月1日（金）・Web会議〕について（白崎常任理事）

7月31日（月）に開催した広域災害救急医療情報システム（EMIS）研修会の実施結果について報告後、国の指針などを踏まえて航空搬送臨時医療施設（SCU）や災害支援ナース、災害拠点病院の浸水対策などを盛り込んだ、北海道医療計画素案のたたき台について協議を行った。委員からは災害医療連携体制図などについて修正意見が出た。

(9) 第1回北海道CDR推進会議〔9月4日（月）〕について（三戸常任理事）

今年度から新たに就任した委員による自己紹介の後、会長選出があり、小職が会長に就任した。北海道CDRモデル事業実施要綱の改正や今年度の北海道CDRモデル事業の実施スケジュール等について、北海道から説明があり、意見交換を行った。次回は来年1月に開催予定である。

(10) 北海道いじめ問題審議会いじめ調査部会〔9月5日（火）〕について（三戸常任理事）

申し立てのあったいじめによる重大事案について、調査審議を行った。

10. 各部報告

(1) 【情報広報部・医療政策部】報道機関各社との連携強化について（荒木常任理事）

報道機関関係者との交流を図るとともに報道機関各社の協力のもと、医療に関する情報や医師会の取り組みを発信し、道民に周知・啓発することなどを目的に、情報広報部と医療政策部が主体となり、定期的に報道機関各社と意見交換会等を開催する予定であることを説明した。

道総医協関連事項（藤原副会長）

1. 地域保健専門委員会第1回糖尿病対策小委員会 〔8月9日（水）・Web会議〕について

（長谷部常任理事）

委員長に旭川医科大学内科学講座の奥村利勝教授、副委員長に藤原副会長が選任された。北海道医療計画の進捗状況・評価（糖尿病）と次期北海道医療計画における糖尿病および慢性腎臓病領域の骨子案について説明があり、今後の本計画策定スケジュールについて確認した。

2. 第2回・第3回救急医療専門委員会〔8月24日 （木）・9月7日（木）・Web会議〕について

（鈴木副会長）

第2回委員会では、新たな医療計画における救急医療体制の骨子案、国の指針や法改正があった救急救命士法、アドバンス・ケア・プランニング（ACP）、搬送困難事案への対応、救命（第三次）救急医療体制の説明があり、今後の方向性について協議した。第3回委員会では、第2回委員会の協議内容を盛り込んだ救急医療、災害医療、小児医療それぞれの、新たな北海道医療計画における素案のたたき台の説明があり、更新内容について協議した。

3. 第5回地域医療専門委員会〔8月30日（水） について（佐古副会長）

令和5年度地域医療介護総合確保基金（医療分）の内示について報告後、次期外来医療計画および次期北海道医療計画の骨子案や北海道医療計画（平成30年度～令和5年度）の推進状況・評価等について協議した。

4. 地域医療専門委員会第2回在宅医療小委員会〔9 月5日（火）・Web併用〕について（伊藤常任理事）

次期北海道医療計画策定にあたり、在宅医療提供体制は、プロセス指標に関する指標等の追加を検討し、「積極的な役割を担う医療機関」および「必要な連携の拠点」に関する指標等を追加することとし、選定要件等について協議した。また、在宅医療（訪問診療）の新たなサービス必要量の推計に係る「在宅医療」、「介護施設」の各区分への按分方法については、現計画と同様に病床機能報告のデータを活用することを決定したほか、次期医療計画の素案について検討を行った。

第14回常任理事会

日時 令和5年9月26日（火）18:00～19:17
場所 北海道医師会館・9階理事会室
出席者 松家会長、藤原・佐古・鈴木各副会長、
三戸・目黒・橋本・水谷・山科・伊藤・
青木・荒木・長谷部・菅田・寺本・白崎・
村上各常任理事、藤瀬・梶・阿久津各監
事、長瀬顧問

（事務局：三瓶事務局長ほか14名）

協議事項

第1号 母体保護法指定医師の指定に関する件

（目黒常任理事）

持ち回りの審査委員会において指定可とされた、新規申請者1名、再審査申請者2名を承認することと決定。

第2号 令和5年度北海道医師会表彰に関する件

（目黒常任理事）

当会表彰規程に基づく70歳以上で会員期間20年以上の会員173名、本会役員・代議員を通算15年以上の会員8名、特別表彰として郡市医師会長2名、A会員の病院・診療所・老人保健施設従業員448名、国公立等医療施設従業員137名、医師会職員7名の合計775名を表彰選考委員会での選考結果により被表彰者とする事と決定。

第3号 日本医師会生涯教育講座の認定に関する件

（村上常任理事）

申請のあった日医生涯教育講座5件を承認することと決定。

第4号 その他

(1) 10月行事予定に関する件（事務局）

報告事項

1. 第30回全国医師会共同利用施設総会〔9月9日 （土）～10日（日）・岡山県岡山市〕について

（青木常任理事）

日医の主催、岡山県医師会の担当で「次世代に託す医師会共同利用施設の使命～かかりつけ医機能支援と医療・保健・介護・福祉の充実～」をメインテーマに開催された。1日目は日医・松本会長の特別講演、令和4・5年度全国医師会共同利用施設施設長検査健診管理者連絡協議会報告の後、医師会病院関係、検査・健診センター関係、介護保険関連施設関係の分科会に分かれシンポジウムを行った。2日目は、岡山県内共同利用施設紹介、分科会報告および全体討議の後、施設見学があり、参加者数は412名であった。なお、今回は群馬県医師会の担当で、令和7年8月30日（土）、31日（日）に開催予定である。

2. 表彰選考委員会〔9月11日（月）〕について

（目黒常任理事）

協議事項第2号で併せて報告。

3. 〔厚生労働省医政局主催〕第2回医療政策研修会 〔9月15日（金）・Web開催〕について

（荒木常任理事）

厚生労働省医政局地域医療計画課担当者等から「医療計画・地域医療構想」、「災害支援ナース」、「新興感染症発生・まん延時における医療」、「在宅医療の体制整備」、「医師の働き方改革」をテーマに講演があった。なお、本研修会はストーリーミング形式で実施され、説明動画および各講演の資料は厚生労働省ホームページから視聴可能となっている。

4. 外部各委員会報告

- (1) 北海道医療対策協議会「第2回地域医療を担う医師の確保に関する検討委員会」、「第2回地域枠医師キャリア形成支援検討委員会」、「第3回専門医制度等に関する検討委員会」[9月5日(火)・Web併用]について(佐古副会長)

3検討委員会が合同で開催され、次期北海道医師確保計画の策定に向けて協議を行った。①道内の目標医師数は医師多数区域の目標医師数を減らして調整すること、②勤務施設別医師偏在指標については、道内の二次医療圏においては病院の指標で医師多数とはならないため本指標を活用しないこと、③医師少数スポットを設定せず、現行と同様に道全体の施策を推進する中で対応していくこと等が承認された。その後、キャリア形成卒前支援プランの素案について説明があり承認された。

- (2) 北海道口腔保健推進協議会[9月14日(木)]について(荒木常任理事)

北海道歯科保健医療推進計画(8020歯っぴいプラン)ならびに北海道医療計画の素案のたたき台について、意見交換を行った。

- (3) 北海道ドクターヘリ安全管理委員会[9月14日(木)]について(白崎常任理事)

委員長に手稲溪仁会病院・奈良理副院長が選任され、昨年度のドクターヘリに係るインシデント・アクシデント情報の集計結果等の報告後、各基地病院から分類レベルが高い3aおよび3b事案について説明があった。その後、道内の局所災害におけるドクターヘリ等航空医療連携体制について意見交換を行った。

- (4) 北海道医療対策協議会「第2回地域医療を担う医師養成検討分科会」、「第3回専門医制度等検討分科会」[9月15日(金)・Web併用]について(佐古副会長)

2分科会が合同で開催された。次期北海道医師確保計画の策定等に向けて、下部組織の各検討委員会が了承した、勤務施設別医師偏在指標の活用、医師少数スポットの設定、医師少数区域以外の二次医療圏を含めた目標医師数の設

定、計画の効果の測定と評価およびキャリア形成卒前支援プランの素案について説明があり、協議の結果、すべてが承認された。

- (5) 第3回北海道肝炎対策協議会[9月19日(火)]について(藤原副会長)

第2回協議会(書面開催)の結果について報告後、ウイルス性肝炎対策部分に係る第6次北海道感染症予防計画の素案(案)について協議した。また、今後の本計画策定スケジュールは、北海道感染症対策連携協議会へ報告後、来年2月に道議会へ提出する予定である。

5. 各部報告

- (1) 日本医師会認定産業医制度研修会の単位シール販売について(村上常任理事)

日本医師会認定産業医制度の単位シールがフリマサイトに販売されている事案が発覚し、日医では9月25日にプレスリリースで公表とともに、再発防止策の留意事項通知を各都道府県医師会宛に発信した。また、各都道府県医師会に対して、取得単位と受講者本人が結びつくよう早急な対応策について協力依頼があり、当会でも認定医制度の適切な運用に向けて、早急な対応を検討していくこととした。

道総医協関連事項(藤原副会長)

1. 地域医療専門委員会第3回周産期・小児医療検討委員会[9月13日(水)・Web会議]について(寺本常任理事)

次期北海道医療計画の素案(たたき台・案)、道内の産婦人科ならびに小児科の医師数、市町村別の分娩数および15歳未満の人口などについて説明があり、意見交換を行った。

2. 第6回地域医療専門委員会[9月20日(水)]について(佐古副会長)

次期北海道医療計画の策定に向けて各専門委員会・小委員会等で協議した内容を取りまとめた素案のたたき台として、本計画の第3章の第9節に「新興感染症発生・まん延時における医療体制」、第8章に「外来医療に係る医療提供体制の確保」を追加したことや、国の通知等によって文言や時点を修正したことについて説明後、協議した。



**みんなで乗れば、
未来が変わる。**
考えよう。行動しよう。公共交通の未来。

北海道医師会は、北海道鉄道活性化協議会(会長：北海道知事)の構成団体として、JR北海道をはじめとする公共交通機関の利用促進に協力しています。
会員の皆さまにも是非ご支援を賜りますようお願いいたします。

公式 Web サイト <https://www.hokkaido-rail-k.jp/>